



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0000809

# エコアクション21 環境経営レポート

2023年度版

(2023年 1月 1日～2023年12月31日)



2024年 5月 1日発行

## 目次

会社概要	3
保有許可一覧	4
実施体制	6
環境経営方針	7
環境目標	8
環境実績	10
環境活動取組み評価及び次年度の取組み	13
関連法規の違反、訴訟	14
経営者による全体評価	15

## 株式会社 環境システムサービスの概要

### 事業の概要

(1) 事業者名及び代表者名・所在地

株式会社 環境システムサービス

代表取締役 加藤 慎次郎

本社（産業廃棄物保管積替施設）

〒193-0823 東京都八王子市横川町1076 TEL 042-625-8120

神奈川支店（産業廃棄物保管積替施設）

〒252-0124 神奈川県相模原市緑区田名2250-1 TEL 042-761-0888

町田営業所

〒194-0202 東京都町田市下小山田町2567 TEL 042-798-0701

厚木営業所

〒243-0212 神奈川県厚木市及川650-1 TEL 046-243-6011

(2) 環境管理責任者

総務部長 佐藤 篤

(3) 事業規模

主な事業

一般廃棄物・産業廃棄物(積替保管、特別管理を含む)収集運搬  
工場内排水処理施設等の清掃  
建築物排水管内高圧洗浄清掃  
再資源・リサイクルに関する業務  
貯水槽・ビルピット・グリストラップ等の清掃  
浄化槽清掃及び維持管理  
建物清掃・道路・公園・池・排水槽等の清掃  
公共下水道管路内清掃・TVカメラ調査

設立・資本金

1980年3月26日設立 資本金10百万円

従業員数

190人(出向等を含む) ※エコアクション21対象数 145人

売上高

年度	42期 2020/7～2021/6	43期 2021/7～2022/6	44期 2022/7～2023/6
金額	1,802 百万円	1,835 百万円	1,967 百万円
収集 運搬量	2021/1～12	2022/1～12	2023/1～12
	68,654 t	71,853 t	65,964 t

保管積替

	面積(m <sup>3</sup> )	保管量(m <sup>3</sup> )	最大保管高(m)
本社	1,204.00	24 (8mコンテナ3基)	1.10
神奈川支店	1,517.29	470	2.75

保有車両数

(2023年12月末現在)

124台	トラック	14	吸引車	14
	ダンプ	6	高圧洗浄車	3
	コンテナ車	9	給水車	1
	塵芥車	54	乗用車・バン	23

連絡先

〒193-0823 東京都八王子市横川町1076 TEL 042-625-8120

浜中

【保有許可一覧】



産業廃棄物収集運搬業					許可品目																	◎積替・保管有	備考						
No	都道府県及び政令都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限	優良性判断に係る評価基準又は優良認定	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃ﾌﾗ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス、コンクリート、陶磁器、くず	鉛	水銀	有機溶剤	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	政令第13号廃棄物	積み替え保管施設の所在地及び面積、許可の条件等		
1	埼玉県	無	平成30年 8月31日 令和7年 8月15日	優良認定	01101004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					○	○	
2	八王子市	有	令和 3年 5月15日 令和10年 5月14日	優良認定 産廃エキスパート	10910004045	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○		○	◎	◎	○	○	○					○	東京都八王子市横川町1076番地 保管・積替え面積2,548.91㎡ 作業時間午前8時～午後5時	
3	東京都	無	令和 3年 5月15日 令和10年 5月14日	優良認定 産廃エキスパート	1310004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					○		
4	山梨県	無	令和 3年 7月1日 令和10年 6月30日	優良認定	01900004045	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○	○							
5	仙台市	無	令和 3年12月 6日 令和10年12月 5日	優良認定	05402004045	○	○				○	○	○				○	○	○	○	○	○					○		
6	静岡県	無	令和 4年2月23日 令和11年2月22日	優良認定	02201004045		○	○	○	○	○							○	○										
7	長野県	無	令和4年8月25日 令和11年 8月24日	優良認定	2009004045	○	○				○							○	○										
8	群馬県	無	令和4年10月18日 令和11年10月17日	優良認定	01000004045	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○									
9	栃木県	無	令和5年 8月21日 令和12年 8月20日	優良認定	00900004045	○	○	○	○	○	○							○	○	○								○	
10	茨城県	無	令和5年 9月28日 令和12年 9月27日	優良認定	00801004045		○	○	○	○	○							○	○										
11	千葉県	無	令和5年 9月30日 令和12年 9月29日	優良認定	01200004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○	
12	神奈川県	無	令和5年11月 1日 令和12年10月31日	優良認定	01402004045	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○						○	
13	相模原市	有	令和5年11月 1日 令和12年10月31日	優良認定	09810004045	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎		○	◎	◎	○	◎	◎					○	神奈川県相模原市田名2249,2250-1,2250-3 保管・積替え面積1,517.29㎡ 環境保全対策は、申請書の記載に基づき適切に行うこと	
特別管理産業廃棄物収集運搬業					許可品目																	備考							
No	都道府県及び政令都市	積替保管	許可取得年月日及び有効期限	優良性判断に係る評価基準又は優良認定	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アル	鉛	水銀	有機溶剤	感雑性	取扱い可能な金属等を含む特定有害産業廃棄物														
1	千葉県	無	平成30年 2月 22日 平成36年 12月 10日	優良認定	01250004045		特定有害		○ 特定有害	○ 特定有害				○	汚泥、廃酸、廃アルカリ：カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 廃アルカリ：シアン化合物														
2	東京都	無	令和 4年 7月 9日 令和11年 7月 8日	優良認定	1360004045			特定有害	特定有害					○	廃酸：水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 セレン又はその化合物 廃油：ジクロロメタン														
3	神奈川県	無	令和 4年 8月 3日 令和11年 7月 14日	優良認定	01452004045	特定有害	特定有害	○ 特定有害	○ 特定有害	○ 特定有害	特定有害	特定有害		○	廃石綿等、及び全ての特定有害産業廃棄物（ジオキサン、PCBを除く）														
4	山梨県	無	令和 4年 8月 9日 令和11年 8月 8日	優良認定	01950004045			特定有害						○	廃油：ジクロロメタン														
5	埼玉県	無	令和4年9月16日 令和11年 9月15日	優良認定	01152004045		特定有害		○ 特定有害	○ 特定有害				○	汚泥、廃酸、廃アルカリ：カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物 廃アルカリ：シアン化合物														

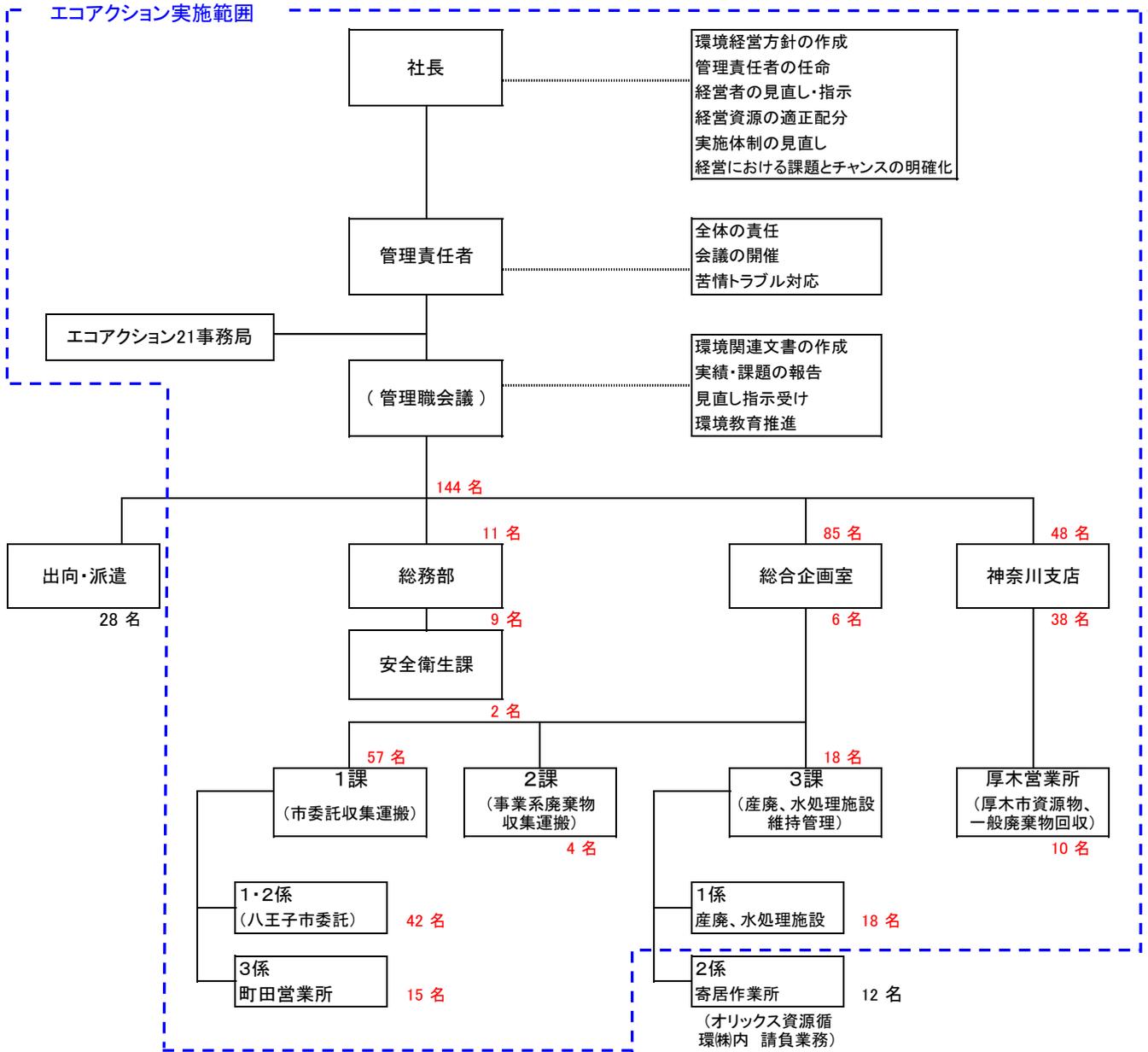
【保有許可一覧】

一般廃棄物収集運搬業					許可品目												
No	都道府県 及び政令都 市	積 替 保 管	許可取得年月日 及び有効期限	許可番号	一般ごみ	し尿	浄化槽 汚泥									搬入先、条件など	
1	八王子市	有 (電 気 の み)	2024年4月1日 2026年3月31日	21	事業系 家庭系	○	○									八王子市処理施設 多摩ニュータウン環境組合 八王子市一般廃棄物処分業許可業者処理施設	
2	日野市	無	2024年4月1日 2026年3月31日	8	事業系	○	○									日野市クリーンセンター 株式会社エンザ	
3	厚木市	無	2024年4月1日 2026年3月31日	165	○	○	○										
4	相模原市	無	2024年3月7日 2026年3月6日	A0088	○											相模原市北清掃工場 津久井クリーンセンター	
5	吾妻東部 衛生組合	無	2024年4月1日 2026年3月31日	13	動物園より発生するふん尿、寝ぐら、食べ残しなど										株式会社エンザ群馬工場への搬入に限る		
6	寄居町	無	2023年8月1日 2025年7月31日	A2108AU036号	その他のごみ 事業系(資源ごみ)										オリックス資源循環㈱寄居バイオガスプラントに係る区域に限る。		

# エコアクション21 実施体制 組織図(2024/1/1現在)

作成日	2024. 1. 1現在で作成
作成者	佐藤

【参照資料】全体組織図より抜粋



## エコアクション対象人数

各部門の責任者の職務
・部門内の活動の徹底
・部門内の活動の報告
・部門内の意見の集約

役員	1
本社	81
神奈川支店	38
町田営業所	15
厚木営業所	10
エコアクション対象人数	145
出向・派遣・請負	40
短時間従業員(調整)	5
全従業員数	190

# 環 境 経 営 方 針

1. 当社は、持続可能な開発目標（SDG s）に賛同し、事業活動を通じ廃棄物の分別資源化に努めるとともに、地域社会との調和・共生に配慮しながら発展することを目指します。
2. 人口減少・超高齢社会によるごみ減量の課題に継続的に取り組み、新しい業務(地域、品目、未利用資源、顧客)を創出します。
3. 環境への取組みの重点分野につき全社及び各事業所の目標を設定して取組みます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
    - ・ 収集運搬車両等の燃費改善
    - ・ 施設や設備における電気使用量の削減
  - ② 自社廃棄物排出量の削減
    - ・ 分別の徹底による再資源化の推進
  - ③ 水使用量の削減
  - ④ 自らが受託した廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮及び サービスの改善
4. 上記の活動を中心に環境経営マネジメントシステムを運用し、継続的に改善します。
5. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、環境政策や業界基準を尊重します。

制定：平成17年12月 8日

改定：令和 4年 1月 1日



株式会社環境システムサービス

代表取締役 加藤 慎次郎

# 環境目標（全社）

作成日	作成
2024.04.01	佐藤

環境方針	環境目標	基準値 2019～2021年 平均	年度別目標			
			2024年度	2025年度	2026年度	
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	全体 CO <sub>2</sub> の排出量 kg-CO <sub>2</sub>	1,124,686	1,086,238	1,075,039	1,063,841	
	内訳	化石燃料 kg-CO <sub>2</sub>	1,091,765	1,059,012	1,048,094	1,037,176
		購入電力 kg-CO <sub>2</sub>	32,921	27,226	26,945	26,665
		排出係数	0.441	東京電力エナジーパートナー 2022年度(0.376)で仮算出		
	収集運搬量トン当 たりの化石燃料削減 kg-CO <sub>2</sub> / t		15.83	3% 削減 15.35	4% 削減 15.19	5% 削減 15.04
		収集運搬量 t	68,961	-	-	-
	燃料消費量	CNG m <sup>3</sup>	7,554	-	-	-
		LP m <sup>3</sup>	14,309	-	-	-
		ガソリン ℓ	38,204	-	-	-
		軽油 ℓ	375,065	-	-	-
	電力消費量 kWh		74,651	3% 削減 72,411	4% 削減 71,664	5% 削減 70,918
節水 m <sup>3</sup>		2,294	3% 削減 2,225	4% 削減 2,202	5% 削減 2,179	
廃棄物の分別の徹 底による再資源化 率の推進	コピー使用量の抑制 (枚)		47,491	3% 削減 46,066	4% 削減 45,591	5% 削減 45,116
		従業員の出す生活ゴミ t (トン)	23.31	3% 削減 22.61	4% 削減 22.37	5% 削減 22.14

# 環境目標（全社）

株式会社環境システムサービス

作成日	2024.4.1
作成者	佐藤

環境方針 (項目を簡略に記述)	環境目標	基準値 2019~2021年 平均	年度目標		
			2024年度	2025年度	2026年度
受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	エコドライブの実践	7.3点	7.9点	8.0点	8.2点
	タイヤの空気圧を適正に保つ点検を定期的実施	7.5点	8.1点	8.3点	8.5点
	騒音や排ガスを抑えるための適正な車両整備の実施	7.6点	8.2点	8.4点	8.6点

# 2023年（年間）実績表 全社

日付	2024.04.01
作成者	佐藤

環境方針	環境目標	基準値 2019~2021年 平均	2021年 実績	2022年 実績	2023年 目標	2023年 実績	評価	コメント	
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	全体 CO <sub>2</sub> の排出量 kg-CO <sub>2</sub>	1,124,683	1,094,435	1,039,608	1,097,431	1,048,695	-	基準値 ▲ 6% 前年比 +0.8% CO <sub>2</sub> 排出量は基準値より減少	
	内訳	化石燃料 kg-CO <sub>2</sub>	1,091,764	1,059,776	1,009,165	1,069,926	1,017,607	-	
		購入電力 kg-CO <sub>2</sub>	32,919	34,659	30,443	27,505	31,088		
		排出係数	0.441	0.451	0.376	<small>東京電力エナジー パートナー2022年度係数</small> 0.376	0.376		
	収集運搬量トン当たりの化石燃料削減 kg-CO <sub>2</sub> / t	15.83	15.44	14.04	対基準年 2% 削減 15.51	15.42	○	目標比 ▲0.5% 取組みや車両入替えの効果もあり、全事業所でほぼ目標クリア	
	収集運搬量 t	68,960	68,654	71,853		65,964			
	燃料消費量	CNG m <sup>3</sup>	7,158	1,599	0		1,062	-	
		LP m <sup>3</sup>	7,933	7,875	8,216		0.000		
		ガソリン ℓ	37,937	38,204	35,639		29,942		
		軽油 ℓ	360,278	375,065	359,097		366,609		
電力消費量 kWh	74,651	76,851	80,972	対基準年 2% 削減 73,157	82,686	×	目標比 +13% 本社と厚木営業所の事業環境が大きく変化し、目標超過		
上水使用量の削減	節水 m <sup>3</sup>	2,292	2,575	2,439	対基準年 2% 削減 2,243	2,628	×	目標比 +17% 事業環境の変化が影響し、全営業所で目標超過	
	(参考) 雨水・井戸水使用(m <sup>3</sup> )	0	1,000	888		1,117	-	高圧洗浄車・給水車に使用	
廃棄物の分別の徹底による再資源化率の推進	コピー使用量の抑制 (枚)	47,491	52,089	55,432	対基準年 2% 削減 46,541	49,951	×	目標比 +7% 障がい者の業務遂行に不可欠なコピーが増えて目標超過したが、前年よりかは減少した	
	従業員の出す生活ゴミ t(トン)	23.31	31.29	33.57	対基準年 2% 削減 22.83	39.29	×	目標比 +72% 神奈川支店と厚木営業所で基準値が是正対象となり、現状に合致しない	

# 2023年（年間）実績表

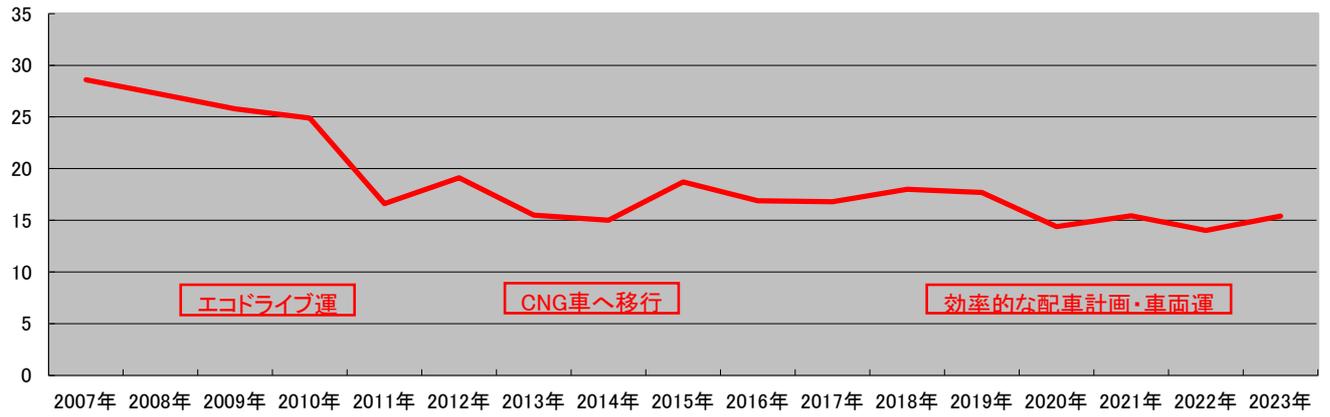
全社

日付	2024.4.1
作成者	佐藤

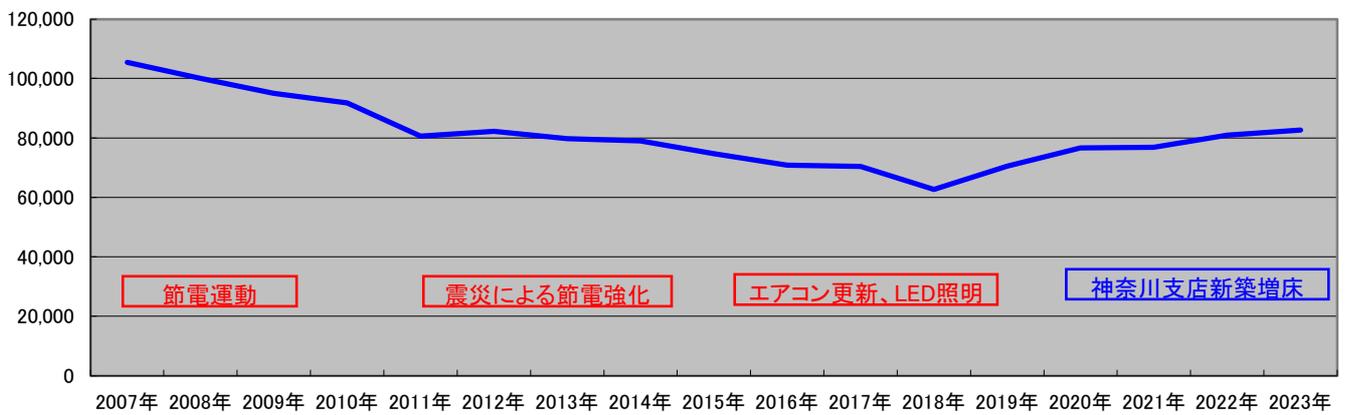
環境方針 (項目を簡略に 記述)	環境目標	基準値 2019～2021年 平均	2021年 実績	2022年 実績	2023年 目標	2023年 実績	評価	コメント
受託した産業廃棄物の おける収集運搬に 環境配慮	エコドライブの実践	7.3点	7.6点	9.1点	7.7点	9.3点	○	エコ運転が定着してきたといえる
	タイヤの空気圧を 適正に保つ点検を 定期的実施	7.5点	7.9点	9.0点	7.9点	9.2点	○	整備管理者の努力により 取り組みが定着してきた といえる
	騒音や排ガスを抑 えるための適正な 車両整備の実施	7.6点	8.1点	9.2点	8.0点	9.5点	○	整備担当者が計画的に 整備を行なうようになり、 定着したといえる

※「効率的な車両運行計画」及び「排ガスや燃費を考慮した車両購入」については定着しているため、取り組みから除外しました。

【全社】収集運搬1トン当たりの化石燃料CO<sub>2</sub>排出量(Kg-CO<sub>2</sub>)



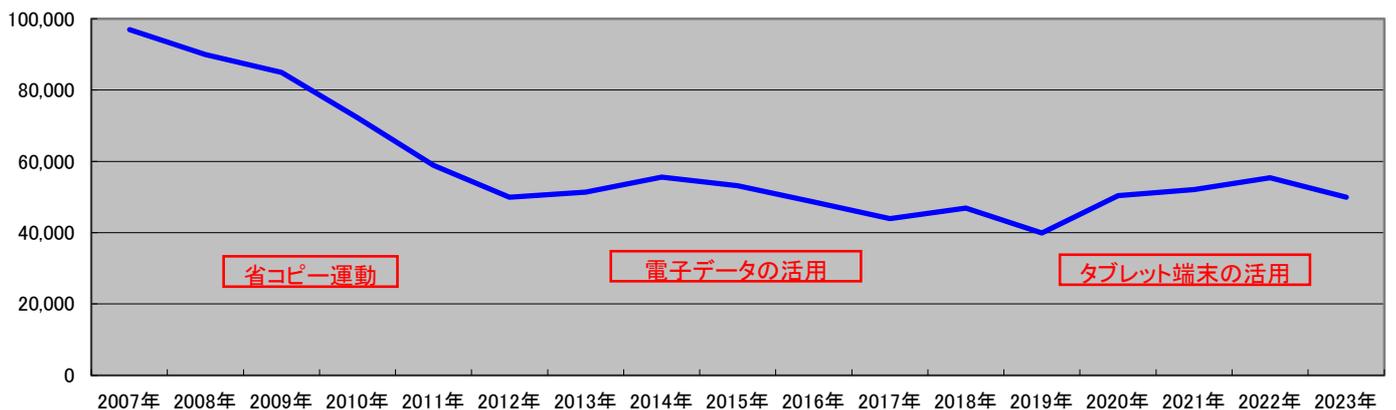
【全社】電力消費量(kWh)



【全社】上水使用量(m<sup>3</sup>)



【全社】コピー使用量(枚)



## 環境活動の取組内容と結果の評価

項目	実施方法	取組評価	結果に対するコメント
CO2 排出量の削減			車両入替えの影響もあり、取組み効果が高まった  取組みにも拘わらず事務所増床や事業環境の変化により削減に至らず  可燃ゴミ収集車に不可欠な洗車は役所の要請もあり、節水に努めても削減は難しい  取組みに努めるも雇用する障がい者の業務に必須のコピー削減は難しい  ISOで義務付けられた書類保管の廃棄が毎年あり、一律の削減は難しい  取組みに問題なし
運搬量に対する化石燃料の使用削減	燃費管理	○	
	車両整備	○	
	急(発進・加速)のつく操作をしない	○	
電力消費量の削減	空調適温化(冷房26℃、暖房22℃)、フィルタ清掃	○	
	必要な区域・時間帯を限定	○	
	日よけスクリーン・扇風機・打ち水の活用	○	
上水使用量の削減			
節水、水の効率的利用	洗車場の整備・清掃	○	
	洗車手順の遵守	○	
	雨水・地下水の活用	○	
廃棄物の分別の徹底による再資源化率の推進			
紙使用量の抑制	会議用資料・事務書類の簡素化	△	
	裏紙の利用	○	
	電子メディア・タブレット利用によるペーパーレス化	○	
カン・ビン・プラスチックなどの分別	分別・リサイクル	○	
	シュレッダー使用を機密文書に限定	○	
	書類の廃棄管理強化	○	
受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮			
環境負荷の軽減	エコドライブの実践	○	
	タイヤの空気圧を適正に保つ点検を定期的実施	○	
	騒音や排ガス抑制のための適正な車両整備実施	○	

## 環境活動の次年度の取組み内容

2019～2021年実績値を平均化して新たな目標値を設定して環境負荷低減の取組みを開始した2年目の2023年度は、昨年度に引き続いて事業環境変化の影響を受け、1項目しか目標を達成できませんでしたが、当社のCO2排出量の97%を占める化石燃料消費において、基準値より6.7%の削減を達成しました。

次年度以降も、各取組み項目の目標達成はもちろんのこと、全体CO2排出の抑制に努めてまいります。

## 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規は下記の通りであり、確認の結果、違反はありませんでした。

また、係争している訴訟及び近隣からの苦情はありません。

No.	関連法規等	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守
2	家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	遵守
3	自動車NOx. PM法	遵守
4	環境確保条例(都)	遵守
5	廃棄物条例(都)	遵守
6	産業廃棄物業者の実績報告に係る要綱	遵守
7	自動車リサイクル法	遵守
8	貨物自動車運送事業輸送安全規則	遵守
9	貨物自動車運送事業法	遵守
10	道路運送車両法	遵守
11	道路法	遵守
12	道路交通法	遵守
13	道路車両管理法	遵守
14	浄化槽法	遵守
15	下水道条例(都)	遵守
16	悪臭防止法	遵守
17	消防法	遵守
18	高圧ガス保安法	遵守
19	フロン排出抑制法	遵守
20	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	遵守
21	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)	遵守

# 経営者による全体の評価と見直し・指示

経営者	管理責任者
代表取締役 加藤 慎次郎	佐藤

## 1 見直しのための情報

【参照資料】マネージメントレビュー報告書より抜粋

	見直し年月日	2024. 4. 8
評価 課題	1 環境経営システムの完成度	<p>2023年 7月の中間審査における指摘事項に対し、 A判定4項目の全てについて、必要な対応が行なわれたことを確認した。</p> <p>2017年版ガイドラインに則り、安定してシステム運用が継続されていると判断する。</p>
	2 環境目標の達成度	<p>全体CO<sub>2</sub>排出量は基準値より ▲ 6%、前年比 +0.8%となった。</p> <p>取組項目①「運搬量に対する化石燃料」、②「電気使用量」、③「上水使用量」、 ④「コピー使用量」、⑤「自社廃棄物」のうち、①を除いた4項目で目標を達成できなかったが、 ④については前年比マイナスを達成した。 ②「電気使用量」は本社及び厚木営業所の事業環境変化 ③「上水使用量」は全社において事業環境変化 ④「コピー使用量」は障がい者スキルアップにより業務が拡大、コピー削減が進まない ⑤「自社廃棄物」は神奈川支店と厚木営業所において基準値是正指摘の影響 いずれも基準値当時とは事業環境が大きく変化したことが要因である。</p>
	3 法規制の遵守	<p>当社に適用される法規は、廃棄物・労働衛生関係などであるが、法令に基づき適切に対応しており、違反はない。</p>
	4 実施体制	<p>現在の実施体制には問題はなく、変更を要しない。</p>
	5 外部からの苦情・要望	<p>全社で11件(本社 6件、神奈川支店 2件、町田営業所 3件)のクレームが発生した。 前年比▲4件であるが、原因として運転マナーの悪さや周囲への配慮不足のほかに、 回収品目を間違える誤収集が増えた。 ミーティング等で繰り返し、過去事例として取り上げて教育する必要がある。</p>
	6 内部監査	<p>前年度の取組みで目標が達成できなかった項目を中心に今年度の進捗状況を相互確認 するなど内部監査を有効に活用している。</p>

## 2 前回の見直し指示に対する結果評価

基準値見直しの時期	<p>2022年度に目標値の見直しを行なったのにも拘らず、2022年度と 2023年度は、「運搬量に対する化石燃料消費」を除いて目標超過 しており、目標値の再見直しが必要である。 しかしながら、2022年度から事業環境変化の傾向が出ているの で、 3年後の2025年度から基準値を見直すようにする。</p>
-----------	---

## 3 今回の見直し指示

消火訓練未実施	<p>2023年12月に予定されていた消火訓練が未実施であったので、 是正指示を行なった結果、2024年3月に訓練実施を確認した。</p>
---------	---